近旅連総会特集

今年度の事業計画

北海道連合会

「ひまわり会」核に連携強化

鐵　顯彦会長

昨年度は北海道連合会として目標を110万人泊、100億円としておりましたが、92万人泊、80億円と前年から10パーセント以上落ち込む結果となりました。北海道地域への入境交通手段として、依存度の高い航空機における航空会社施策による路線廃止、航空機材の縮小が大きく影響しています。また昨年もテーマとして取り組んできた地域間格差の是正についても、前年超えを果たした富良野地区と函館地区に比べ、旭山動物園の人気の陰りが響いた旭川・層雲峡地区、昨年、世界遺産登録5周年を迎えたものの航空施策の千歳集中化の影響を受けた知床地区および網走地区など、各地区前年を大きく下回っている状況です。このような環境下ではありますが、唯一明るい兆しとして、もう1つのテーマでありました域内の活性化については、活性化のための予算拡大や情報連絡員と会社の協力により2ケタ以上の伸長率を残すことができました。

本年の北海道連合会のテーマは、「訪日旅行を含めた道外客の誘致」「域内需要の活性化」であります。テーマの推進にあたり、活性化予算を拡大し、昨年度正式に立ち上げました旅連、運輸関連、観光施設関連3組織の連合体である「北海道ひまわり会」の地域での支部情報連絡委員会の連携強化を行います。

具体的な取り組みとして、道外誘致については、出向いていくキャラバンから出迎えるモニター体験推進へと変革し、店頭販売係員のみならず、団体セールスパーソン、手配係員に北海道を体感していただき、もてなしを実践したいと考えています。特に北海道の自然体験と環境学習をアピールするために教育旅行担当者の研修受け入れを展開します。さらに、早期契約につながるキャンペーンの展開を個人・団体向け双方向に実施してまいります。

訪日旅行、特にアジア圏の訪日需要喚起にあたっては、北海道ひまわり会としてインバウンド誘致を目的とした中国訪問や北海道観光推進機構などの地元組織団体とのコラボレーションによるインターネットでの情報発信などにより推進を図ります。

また占有化が進んでいるネット販売についても、北海道仕入販売センターと連携し、インターネット企画のさらなる販売拡大を目指します。

昨年度、好調に推移した域内需要の拡大につきましては、昨年発足のKNT北海道とのタイアップキャンペーンなどへ積極的に取り組み、販売協力、支援体制の強化を図ってまいります。

最後に北海道ひまわり会の発足にご協力いただきました関係協力機関の皆さまへ改めて御礼申し上げると共に、今後とも連盟本部をはじめとして皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

東北連合会

宿泊券目標達成の祝杯を

渡邉　和裕会長

昨年は、国外イベントとして「バンクーバー冬季オリンピック」「上海万博」「ワールドカップ南アフリカ大会」、国内においては「羽田空港国際ターミナル開業」「平城遷都1300年」「大河ドラマ龍馬伝関連ツアー」などがあり、久しぶりに旅行需要の多い年でした。

東北では12月に東京～新青森で全線開通した東北新幹線が、唯一大きな話題でした。また、年末に秋田県の田沢湖で絶滅したと思われていた「クニマス」が山梨県の西湖で70年ぶりに生存確認され報道されたことは非常に明るい話題でした。しかし昨年の東北全般の経済情勢は、人口減少等の影響もあり、大変厳しい状況でした。

昨年の東北連合会の宿泊券取扱実績は、前年比11%減の51億9600万円となりました。店舗運営の見直しによる店舗統廃合が個人旅行の取り扱いに大きく影響したと分析しています。そんな中で一昨年、新型インフルエンザ流行の影響で大きく落ち込んだ学生団体の入り込みが復活し、前年実績をクリアしたことは明るい材料でした。

本年度の東北連合会宿泊券目標は、前年比10%増の56億円と設定されました。

本年は、①東北新幹線全線開業のファイナルイベントとして、3月5日に時速320キロメートルの新型車輌「はやぶさ」の導入②4～7月に「青森デスティネーションキャンペーン」が展開③3月に「北関東自動車道」の全線開通④6月に平泉の世界遺産登録審査⑤7月に「全国高等学校総合体育大会」が北3県で開催⑥8月に全国高等学校総合文化祭が福島県で開催――などと、久しぶりに大型イベントが目白押しです。開催地の支部会員の皆さまと会社内外の関係箇所と宿泊券増売への取り組みをより効果的に進められるよう連携して、情報発信、誘客活動を行ってまいります。

昨年末、東北6支部の支部長、情報連絡委員長と、会社側の皆さまの出席で「拡大正副会長会議」を開催し、本年度の活動計画案を討議いただきました。

今年度は「宿泊券増売」を最優先課題として、①首都圏一般団体の誘客として首都圏にて、「ワークショップ（仮称）」の開催②今年で最終年になる支部対抗域内企画商品設定への継続参加③連合会総会の開催、運営方法、費用の見直し、出席率の向上④インバウンドの取り組みとしてKNTコリアと合同で、次年度韓国誘客ミッションの計画準備⑤昨年度実施した店舗統廃合の支援として「団体セールスマン」の個人旅行契約キャンペーンの継続展開――以上の施策方向で、会員の皆さまのご協力とご支援を受け事業活動を進めてまいります。

今年も連合会事業にご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

首都圏連合会

地域素材の提供、積極的に

榎本　孝弘会長

会員の皆さま、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は国内経済が少し回復の兆しが見え、好調な滑り出しを期待しておりましたが、国内外ともに不安定な状況となり私たち首都圏の宿泊事業者を取り巻く環境は、厳しい1年だったと思います。

さて、今年KNTは、激動する環境変化への対応とともにその実効性を高めるためにいくつかの施策を実施すると聞いております。首都圏連合会としましては、KNTが実施する施策に基づき、「個人旅行事業の改革」「中国・アジア事業の拡大」「新システム『テラノスV（ファイブ）』のリリースと活用」「団体販売へのサポート」を中心に支援活動を行っていきたいと思います。

まず「個人旅行事業の改革」につきましては、メイト商品とEクーポンを中心に支援していきます。特に夏季メイト商品の販売の最大化に向けた支援として、夏季繁忙期における「売れる」地域素材の提供と販促支援を積極的に推進していきます。

また、Eクーポン（ウェブ手配旅行商品）の販売拡大につきましても、新たに国内マルチメディア事業部が立ち上がり、メイト、eビジネス、仕入販売センターの精鋭社員が集結し商品造成に直接取り組むと聞いております。これにより、メイトの企画力、eビジネスのウェブスキル、仕入販売センターの仕入力が備わった対応が可能になると考えております。連合会としましても大いに期待しておりますので、「支部特集」などの販促支援を積極的に展開していきます。

次に「中国・アジア事業の拡大」につきましては、中国・アジアからのお客さまを専門的に扱う「KNT ASIA」が設立されましたので、訪日団体、個人、MICEなどの受け入れ環境整備を地域行政と連動して推進し、また、KNT ASIAと協業し受け入れ環境整備について検討していきたいと考えております。

そして「『テラノスV』のリリースと活用」ですが、今年10月より稼動する汎用性を持つ新型コンピュータ（テラノスV）の目玉のひとつとして、お客さまへのより細やかな施設情報の提供があると聞いております。首都圏連合会としては、KNTが求める新たな情報提供に協力し、お客さまへの情報提供サービスの向上を目指していきますので、移行に伴うさまざまな業務の速やかなる対応をお願いし、また、新たな販売システムによる宿泊の増売を期待しております。

また「団体販売へのサポート」につきましては、地域振興の一環としてスポーツイベント開催などの誘致をKNTと共に行政などの関係箇所に提案をし、イベント団体に強いKNTのサポートを推進していきます。

それと共に、KNTグループ内の会議を連合会・支部管内の施設にて開催するよう誘致しています。社員の皆さまに直接「地産地消」を体験してもらい、さらにその地ならではのオリジナルな体験やイベントなど、有力な情報を提案していくことで、KNTグループとの連携をこれまで以上に強め、近旅連活動の充実、活性化を推進してまいります。

会員の皆さまのお役に立つ近旅連活動と強いKNT復活に向けて努めてまいりますので、どうか本年も引き続き会員の皆さまからのご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

昨年の首都圏連合会総会

中部連合会

香港からの誘客に着手

堀　泰則会長

昨年を振り返りますと、当管内では「全特名古屋総会」「COP10」などの大型イベントの取り扱いがあったものの、地域の経済活動自体が減速状況にある中、宿泊券販売額全体としても前年比10%減と大変厳しい結果で1年を終えました。

さて、今年の中部連合会の活動ですが、昨年の厳しい結果を踏まえ、組織の最大目的である近旅連会員の宿泊券増売に向け、「出向誘客活動」「情報発信」「メイト商品販売コンテストへの参画」を主要課題とし、中部域内の販売強化を図ります。

「出向誘客活動」「情報発信」につきましては、KNT中部観光産業推進協議会（KNTパートナーズクラブ）との共催で取り組み、国内誘客では7月14日に東武ホテルレバント東京にて、KNT、KNTツーリストの社員の皆さまにご出席頂き、誘客会議およびプレゼンテーションを実施します。各県の魅力ある地域情報を発信し、MICE関連団体、訪日旅行、個人旅行そして教育旅行と幅広く誘客を図ります。

また、海外誘客では6月に香港キャラバンを実施します。「KNT香港」はじめ現地有力旅行会社を訪問し、中部の自然、文化、歴史等の観光資源を取り入れた魅力ある企画を提案してまいります。

現在、地方自治体・民間企業共にインバウンドへの期待が大変高まっております。香港からのインバウンドを「新たな宿泊需要のマーケット」と位置付け、効果的なキャラバンを実行し、誘客に努めてまいります。

今年が最終年となりました近旅連と会社の3年間協同事業「メイト商品販売コンテスト」には各支部が仕上げの年として参画致します。情報連絡員を中心に地域の新たな魅力ある観光資源を発掘し、コンセプトを明確にした商品造成を行い、メイトパンフレットおよびウェブにて販売展開し地域需要の創出を図りたいと考えております。

会社におかれましては、本年1月より訪日旅行部および個人旅行事業本部カンパニーが設置されました。今後も増大が見込まれる中国人インバウンドの取り扱い、メイト、エブの個人販売を強化されるとのことです。当会員もインバウンドに対する期待は大きく、受け入れ機関としてもその態勢を整えることが急務だと考えております。またメイトとウェブの一元化は、個人旅行の宿泊券販売が売り上げ全体の77%を占める当連合会としても大いに期待するところであります。いずれにしましても連合会として会社の目指すビジョンを支持し、連携することにより近旅連会員の「宿泊券増売」に取り組みたいと考えております。今後とも中部連合会の事業活動にご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

関東甲信越連合会

広域な連合会の特性生かす

髙島　哲男会長

近旅連会員の皆さま本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年を顧みますと景気については、回復基調にありますが観光業でも旅行需要の回復傾向が見られました。しかしながらリーマンショック以前の水準までには依然遠く、連合会会員の皆さまにおいては、厳しい状況の年でありました。

本年度、KNTにおかれましては、中期経営計画の見直しの中で3つの具体的な施策に重点を置かれています。関東甲信越連合会としては、この3つの具体的な施策に対し支援活動を実施していきたいと考えております。

1つめは、「個人旅行事業の改革」に合わせた旅行商品の造成への協力です。1月より新たにウェブ専用商品造成をする「国内マルチメディア事業部」が動き出しているとうかがっております。お客さまの行動、購買形態が大きく変化をしていく中では、インターネットを利用するウェブ専用商品の造成に積極的に協力し、お客さまの行動を先取りしたウェブ専用商品の販売支援をしていきたいと思っております。また、メイト商品にも広域な連合会の特性を生かし、各支部、地域の新たな素材を掘り起こし、提供することで、販売支援に協力していきます。

2つめは、「中国・アジア事業の拡大」のための連携推進です。訪日旅行の専門会社KNT ASIAが設立されておりますので、今後さらに拡大が見込める中国を中心としたアジアからの訪日旅行の受け入れのために、地域の観光団体および行政との連携を推進していきたいと考えております。

3つめは、「スポーツビジネス事業の拡大」に向けた情報提供などの協力です。行政や自治体が地域振興の動きを活発化する中で、スポーツイベントやスポーツ合宿の誘致に協力をしていきます。連合会の管内には、以前より夏や冬のスポーツ合宿などを手掛けている会員も多く、これらの情報を自治体などの協力もいただいて収集し、提供していきたいと考えております。

連合会としては、この3つの施策を中心に、各支部地域の特性を生かした特別キャンペーンや企画商品造成を各支部情報連絡委員会の中で企画立案した上で、実施し、それを連合会が支援するといった形の取り組みにより、宿泊券の増売を進めていきたいと思っております。

KNTでは8月から新システムが稼動するとのことで、現在、会員の皆さまに新たな情報登録をお願いしております。この新システムが無事稼動し、お客さまおよび会員の皆さまへの利便性向上を図り、宿泊券の増売につながることを期待しております。

業界を取り巻く環境は依然厳しい状況で、また大きな変化を遂げています。この中で連合会は、KNTグループとの連携をより強めていくために3つの具体的施策を中心に連合会活動を推進してまいります。会員の皆さまのご協力とKNTグループのご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

下呂温泉 水明館
ご予約・お問い合わせ　TEL(0576)25-2801
URL: http://www.suimeikan.co.jp/

そうだ!!「五浦観光ホテル」へ行こう!!
同窓会プラン 第2弾!!
期間／1月4日～4月30日まで
平日(月～金) 15名様以上
お1人様 12,600円+150円（150円は入湯税）
宴会時 ビール1本とお酒又はジュース1本付
●カラオケサービス
●全員に集合写真サービス
※休日利用は15,750円+150円、休前日利用は18,900円+150円となります。
平日(月～金) 10名様以上 あんこう鍋付プラン 期間:1／4～3／31
平日 12,600円+150円
休日 15,750円+150円
休日前 18,900円+150円
茨城県立公園　五浦温泉　政府登録国際観光旅館
五浦観光ホテル ☎(0293)46-1111(代) 東京営業所 (03)3847-5991(代)
日帰り湯らっくすパック
(AM11時～PM2時)
2名様からご利用になれます
(お一人様料金) 5,250円コース 6,300円コース 7,350円コース
(和食膳、室料、食前酒、入浴料、タオル、コーヒー)
あんこう鍋付き湯らっくすパック6,300円コースもございます。
※宿泊の料理内容とは、異なります。
五浦観光ホテル　別館　大観荘
日帰り入浴 1,000円
源泉かけ流し・バリアフリー対応!
入浴時間(AM11:00～PM9:00)

近旅連総会特集

近旅連 9連合会

関西連合会

地域特性生かした事業を

増田　明平会長

今年度から佐野喜一郎会長の後を受け関西連合会会長の大役を引き継ぐことになりました奈良支部の増田でございます。会員の皆さまの絶大なるご支援をいただいて一生懸命頑張っていく所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

まず冒頭に、昨年度は関西連合会管内において開催の「第7回支部間交流事業IN京都」に全国から400人を越す近旅連会員の皆さまにご参加いただき、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。また「平城遷都1300年祭」という大型イベントで関西地区へご送客、ご来訪をいただいたこと、重ねて御礼申し上げます。

昨年は国内経済が回復基調になりつつある中、「観光立国の実現」への成果が問われる1年でありました。しかしながら尖閣諸島問題に端を発した東アジアにおける訪日外国人観光客の伸び悩み、国内外共に不安定な経済状況の下、個人消費の低迷が続く大変厳しい1年でした。

関西連合会の宿泊実績は、大型イベントの開催にもかかわらず前年比1%増と前年実績は維持したものの、目標に対し約9%の不足と残念な結果で終わりました。本年度の関西連合会宿泊券目標は、前年比11%増の198億円と設定され、年間宿泊券販売目標の達成に向け、近旅連では「地域の特性を生かした活動・事業を展開する」ことを掲げております。

私ども近旅連関西連合会では、地元KNT関西営業本部と連携し、継続事業として以下の事業をさらに強化、推進してまいります。

①地域密着型宿泊企画「全国みちしるべ」の造成②「多様化するニーズにこたえる着地型商品」の造成③「メイト商品販売支部間コンテスト」への参画④「お客さま紹介運動」の積極推進⑤「KNT社員研修」の受け入れ――。以上、それぞれの会員の機関や地域の魅力を妥協せずにお客さまにお伝えしていくことを目的に、5つの事業を進めてまいります。

激変の時代の今こそ、お客さまの変化のスピードに負けないよう進化する所存です。関西連合会として広域観光に向けさまざまな方面との連携を強化し、各支部・各地区の特色を前面に出した展開を進めてまいります。どうか今年1年、連合会事業に関して、会員の皆さまのご協力とKNTの方々からのご支援、ご鞭撻をたまわりますよう心よりお願い申しあげます。

そして最後に、本年は関西連合会内、滋賀地区を舞台としたNHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国」の放映がスタートしております。数多くの皆さまのご来訪を心よりお待ちしております。

昨年の女性文化講座。ジャーナリストの鳥越俊太郎氏らが講演を行った

近旅連の活動は、各地域の支部、連合会のほか、インバウンド委員会や教育旅行部会など、専門委員会などさまざまな単位で行われている。

このうち異彩を放っているのが、旅館・ホテルの女性経営者や女将らの交流の場として長い歴史を持つ「女性文化講座」。昨年までに41回を重ねる同講座は、著名な文化人やさまざまな分野のスペシャリストを講師に迎えるなど、毎回工夫を凝らした内容。「夏の忙しい時期の後イベントとして楽しみにしている会員も多い」（西野目会長）。

中国四国連合会

双方向での送客を推進

大木　正治会長

昨年は、景気回復を期待しておりました年でしたが、春の口蹄疫に始まり、猛暑、ゲリラ豪雨と、観光事業者を取り巻く環境は全般的に大変厳しい1年でありました。その中で、中国四国連合会管内の宿泊券動向を見ましても前年比7%増、目標比5%減とお聞きしております。

プラス要因として、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放映による効果で、高知県の宿泊は前年比80%増の実績、8月に中国5県で開催された「全国中学校体育大会」で3億円の宿泊券実績がありました。大河ドラマ、スポーツイベントの受注は我々業界においては今後誘致する上で非常に参考となり、官民一体で推進するべきと考えます。

そこで、これからもしばらく厳しい経済情勢が続く中、中国四国連合会ではこの局面を乗り越えるべく次の事業を展開してまいります。

第1は中国四国営業本部と連携した域内双方向宿泊券販売支援の強化では、まず、旅連と連携した営業本部との「域内双方向宿泊券増売キャンペーン」の実施、支援を強化します。セールスパーソンに域内送客を意識付け、地域資源を生かした着地型企画の造成を双方向で行い、目標を達成し宿泊券増売につなげます。

第2は九州連合会との「双方向宿泊増売キャンペーン」の実施です。本年で3年目となります「支部間対抗コンテスト」を九州マーケットに特化し、今年3月に全線開業する九州新幹線をキーワードに商品展開を図ります。実施期間は、4～9月とし、前年比30%増を目指します。個人商品（四国版、広島岡山版、鳥取島根版、山口版）の造成、団体においてはKNT九州よりの送客人員目標20%増を目指します。

第3は「お客さま（人脈）紹介運動」への積極的な取り組みです。今年は紹介件数にもこだわり、前年10%増を目標達成を目指し、盛り上げていきます。

域内におけるイベント関係は、中国地区では、「まんが王国とっとり」の建国、2013年出雲大社大遷宮、山口国体、2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の放映決定、また四国地区では、坂の上の雲、志国高知龍馬ふるさと博開催など、11年から13年にかけてさまざまなイベントが開催されます。このような地域素材を有効活用し、宿泊券の販売拡大に向け取り組んでまいります。

会員の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申しあげます。

九州連合会

社員現地研修に注力

高倉　照矢会長

昨年の九州連合会の事業活動は、継続事業・新規事業を着実に実施しながら、年間宿泊券販売において対前年を少しでも上回ることを最低の目標として事業活動を展開してまいりました。

結果、当連合会管内へのKNT宿泊券販売実績は、残念ながら前年比8%減と前年を割り込む結果となりました。景気の低迷に加え、宮崎県での口蹄疫の大流行による影響は宮崎県に止まらず、南九州に大きな影響を与えました。このような環境の中、前年比8%減で終わったのも、各支部の情連メンバーが中心となり、全会員が積極的に販促活動をしてくださった賜物と会員各位に敬意を表したいと思います。

さて、本年度の連合会事業活動におきましては、9つの事業を計画しておりますが、その中で最も力を入れる継続事業が「メイト九州社員現地研修」であります。この事業はメイト事業部が主管となり九州連合会がバックアップする研修事業で、日頃メイト商品をお客さまとの対面販売を担当している社員の方々を対象に90人規模で実施する、九州にとっては大変貴重な現地研修であると認識しております。

2番目の新規事業として「中国四国連合会・九州連合会　相互送客キャンペーン」を今年4～9月で実施します。またKNT中部営業本部からは「団体九州キャンペーン」を実施していただくことが決定しました。さらに継続事業であります「関西連合会・九州連合会　相互送客キャンペーン」も今年10月から来年3月まで実施し、関西地区から九州地区へのキャンペーンを展開していただきます。

また域内宿泊増売キャンペーンの1つであります「支部間対抗域内商品コンテスト」があります。KNT九州、提携販売店の力強いバックアップの下、九州連合会が一体となってキャンペーンを盛り上げ、是非成功できますよう支援してまいります。

とりわけ2011年は念願の九州新幹線全線開業による本州との大交流時代を迎える「千載一遇の絶好機」ととらえ、このチャンスを宿泊券増売に結び付けられるように努力しなければなりません。九州新幹線の縦軸であります、福岡、熊本、鹿児島各県の充実はもちろんのこと、この縦軸を中心とした横軸を充実させ、しっかりと受け入れ協力体制を整え、九州全体に効果が出るように各支部の協力を仰ぎながら、是非とも成功させたいと念じております。

以上を本年度の事業活動の根幹として、九州7支部の協力体制のもとに、宿泊券販売拡大に努力してまいります。

本年も一層のご支援、ご協力を心よりお願い申しあげます。

真剣なまなざし

第4回を迎えた「平成旅館塾」でのひとコマ。旅館塾では毎回小グループに分かれ、参加者が夜遅くまで熱心に意見を交わしている。

沖縄連合会

新商品素材の開発支援

宮里　一郎会長

2010年は、上海万博、羽田空港国際化、円高ドル安・ユーロ安と海外旅行には順風でありましたが、相対する沖縄観光においては逆風を強く意識した1年でもありました。

また、昨年からの航空路線縮小の影響を受け、特に関西、名古屋地区からの送客に影響がありました。しかしながら、美ら島高校総体開催と外国人客の大幅な増加に助けられ、入域観光客数統計では前年を3・6%上回り、年間で585万人という結果となりました。

今年度は、昨年の羽田空港国際線の本格再開、東北新幹線全線開業に続き、3月の九州新幹線全線開通による沖縄観光への影響は計り知れないものがあります。特に修学旅行への影響は必至ではないかと懸念しているところです。

近旅連沖縄連合会としても、官民挙げての観光施策である修学旅行受け入れ推進への協力を惜しまず活動していくことが重要であると考えており、教育旅行部会を中心に誘客キャラバンや「ワンブロックワンサービス」をしっかりと実施し、来期へのリピーター確保に全力を尽くしたいと考えております。

また本年度は、先に述べた高校総体の裏年となり、かつ本土復帰40周年の前年ともなりますので、昨年の宿泊者数を凌駕するための施策と来期に向けての事業計画を同時に推進していく必要があります。

今年度は、①再編された「沖縄商品担当部署」国内旅行商品事業本部メイト企画2課との連携強化②KNT沖縄と連動したデスティネーションマネージメントの推進により、新しい商品素材の開発支援および販売を支援――などを進めていきます。

特に②については、（1）沖縄歴史ロマンを題材にした作家池上永一氏の「テンペスト」旅行商品化（2）夏期繁忙期における那覇地区宿泊のお客様を対象としたケラマキャンペーン実施（3）離島商品のうち八重山地区における「12トンバーベキューでギネスブック挑戦」「地域ぐるみのナイトイベント」「八重山しまんちゅクーポン」――などについて、近旅連沖縄連合会として協力していくことを計画しております。

以上を本年度の事業計画の柱とし、推進いたします。会員各位のご支援、ご協力をお願い申しあげる次第です。

2010年　連合会総会日程

連合会	実施予定日	会場	
北海道	3月9日	北海道札幌市	ホテルニューオータニ札幌
東北	4月19日	岩手県繋温泉	ホテル紫苑
関東甲信越	4月5日	東京都千代田区	九段会館
首都圏	4月7日	東京都千代田区	九段会館
中部	4月6日	愛知県名古屋市	マリオットアソシアホテル
関西	4月8日	大阪府大阪市	シェラトン都ホテル大阪
中国四国	4月12日	広島県広島市	ホテルセンチュリー21広島
九州	4月14日	鹿児島県鹿児島市	鹿児島サンロイヤルホテル
沖縄	4月22日	沖縄県那覇市	ロワジールホテル＆スパタワー那覇